

事務事業名		日本赤十字社に関する事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				事業区分	担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	向田 紀之	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 地域福祉活動の推進					実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
						任意的事業・義務的事业	任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	日本赤十字社法					
						実施方法	直営				
						事業分類	その他市民に対する事業				
					リーディングプロジェクト	該当なし					
					市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
日本赤十字社の理念に基づき、社資の増強や赤十字奉仕団活動への支援をしたり、火災等の災害時に日赤から提供される救援物資(布団・毛布・日用品)を被災者に給付する事務です。 *参考:日赤栃木県支部佐野市地区長は、佐野市長です。					・日赤社資募集活動(5月～6月) ・「早寝早起き朝ごはんラジオ体操・朝飯会」における日赤活動のPR(7月20日) ・「佐野市総合防災訓練」における日赤活動のPR(10月19日) ・「ふれあいフェスティバル」における炊出し、日赤活動のPR(10月26日) ・災害時購入 ・災害救助物資の交付(随時)						
					活動指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
					社員数	人	2,447	2,523	2,400		
					赤十字奉仕団員数	人	1,662	821	800		
					火災等の災害件数(災害見舞金もしくは日赤救援物資対象)	件	17	15	15		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市民 火災等の被災者					対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
					市民数	人	123,182	122,582	121,522		
					火災等の被災者(災害見舞金もしくは日赤救援物資対象者)	人	39	40	40		
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
人道救済を目的とする赤十字の思想の普及を図る。					成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
					社員数/市民数	%	2.0	2.1	2.0		
					赤十字奉仕団員数/市民数	%	1.3	0.7	0.7		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
福祉活動に参加する人が増え、地域福祉が推進される。					上位成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
					社会福祉大会参加者数	人	468	480	480	490	500

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	0		0		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	1		1		1		1		1	
のべ業務時間	時間	352		352		352		352		352		
人件費計(B)	千円	1,370		1,387		1,387		1,387		1,387		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,370		1,387		1,387		1,387		1,387		

事務事業名	日本赤十字社に関する事務	担当部	子ども福祉部	担当課	社会福祉課	担当係	管理係
-------	--------------	-----	--------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	日本赤十字社は明治10年5月1日に設立され、当初は博愛社と呼ばれていました。1952年の日本赤十字社法に基づき、日本において赤十字活動を行う唯一の団体。名誉総裁は美智子妃殿下。支部長は知事、地区長は首長がほとんどです。本事務がいつから行われているかは不明である。(少なくとも昭和42年からは実施している。)
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	不況などの影響もあり、社資(日赤社員としての会費である社費と寄付金の総称)への理解を得ることも厳しくなってきました。 *社員: 赤十字思想を理解し、毎年500円以上納めていただいている人のこと。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	火災等の被災者のお宅に毛布・布団・日用品を給付しているが、感謝の言葉を頂いている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	人道救済を目的とする赤十字の思想の普及を図ることは、思いやりの心や人の気持ちを尊重する気持ちを育て、地域で福祉活動の推進を図ることになり、総合計画の基本事業である地域福祉の推進に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	社会福祉協議会などが事務を行っているところもあるが、地区長は市長であり行政が行ったほうが効率的であると思われる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	被災者への支援や、イベント時の赤十字活動の紹介などを実施しており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	被災者への支援や、イベント時の赤十字活動の紹介などにより成果は出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は日本赤十字社から支出され、市は担当職員の人件費のみである。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	人道的な立場から被災者等を救援する活動であり、受益者負担を求めるべき性質のものではない。 社資(寄付金)の形で広く市民から援助を受けている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	日本赤十字社が解散したとき		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			